

令和3年度和歌山県学習到達度調査結果の概要

1 調査の概要

(1) 調査日 令和3年10月13日(水)

(2) 調査の目的

児童生徒の学力の定着状況をきめ細かく把握し、指導方法の工夫・改善に役立てるとともに、個に応じた指導を充実させ、学習指導要領に示された学習内容の定着を図る。

(3) 調査内容

①調査教科

小学校調査の第4学年は国語・算数、第5学年は国語・算数・理科

中学校調査の第1学年は国語・数学、第2学年は国語・数学・理科

②調査を実施した学校、児童生徒

ア 小学校調査

公立の小学校第4・5学年、義務教育学校前期課程第4・5学年、特別支援学校小学部第4・5学年

イ 中学校調査

公立の中学校第1・2学年、義務教育学校後期課程第1・2学年、特別支援学校中学部第1・2学年

	学校数	学年	児童生徒数		
			国語	算数・数学	理科
小学校 (小学部)	230校	第4学年	7,039人	7,048人	—
		第5学年	6,916人	6,918人	6,929人
中学校 (中学部)	121校	第1学年	6,644人	6,657人	—
		第2学年	6,570人	6,567人	6,569人

和歌山県学習到達度調査の意義

調査を生かして学力の定着！

児童・生徒

学校・教員

県教委

力を試す

採点・結果分析

集計・分析

授業に生かす

- ・ 個々の児童生徒の学力の定着状況を把握
- ・ 授業の工夫・改善
- ・ 個に応じた指導を充実

- ・ 補充学習等で課題の克服
- ・ 家庭学習の充実

個人票

S-P表

2 結果の概要

小学校国語

□比較的できている問題 ■課題のある問題

【第4学年】

□ローマ字で表記されたものを読むことはできている。

[②(2)①正答率 76.4% 無解答率 6.6%]

□漢字を読むことはできている。

[④(4)①正答率 81.6% 無解答率 14.7%]

■段落相互の関係を考えて文章を読むことに課題がある。

[①(2)正答率 12.7% 無解答率 19.5%] **問題例 p2**

■文章を読んで理解したことに基ついて、考えをもつことに課題がある。

[③(4)正答率 23.9% 無解答率 24.8%]

【第5学年】

□目的に応じて文章を読み、必要な情報を見付けることはできている。

[①(3)正答率 82.9% 無解答率 0.3%] **問題例 p1**

□文と文との関係を捉え、接続する語句を適切に選択することはできている。

[③(1)正答率 78.3% 無解答率 0.5%]

■段落相互の関係を考えて文章を読むことに課題がある。

[①(1)正答率 36.4% 無解答率 5.1%]

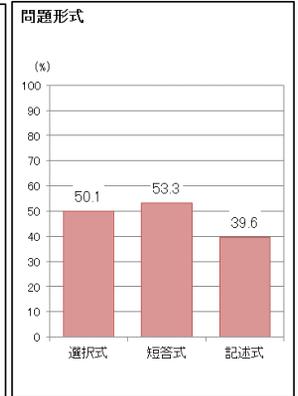
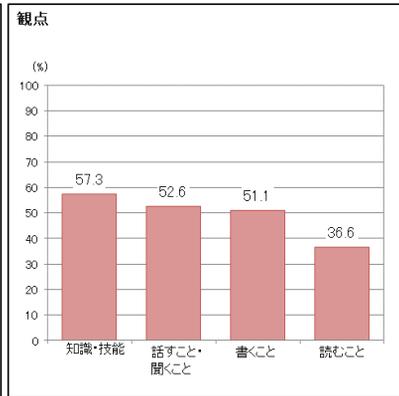
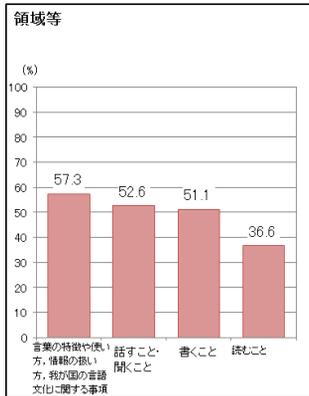
■考えとそれを支える理由との関係を明確にして書くことに課題がある。

[④(5)正答率 36.0% 無解答率 8.3%]

正答率の比較

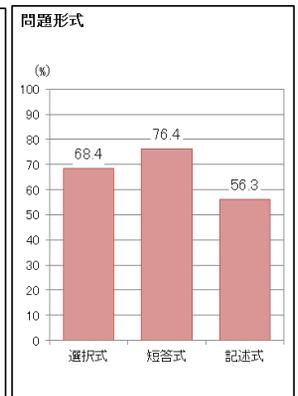
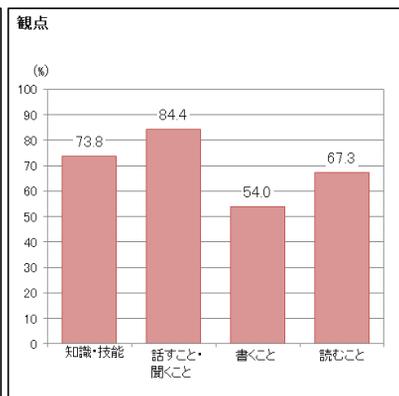
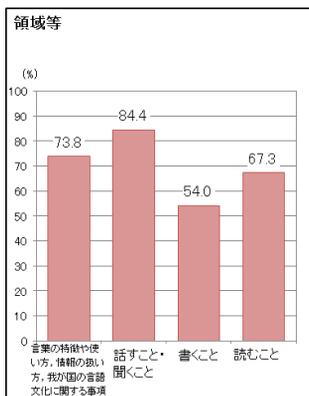
第4学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
49.4	14.1



第5学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
70.8	2.8



小学校算数

□比較的できている問題 ■課題のある問題

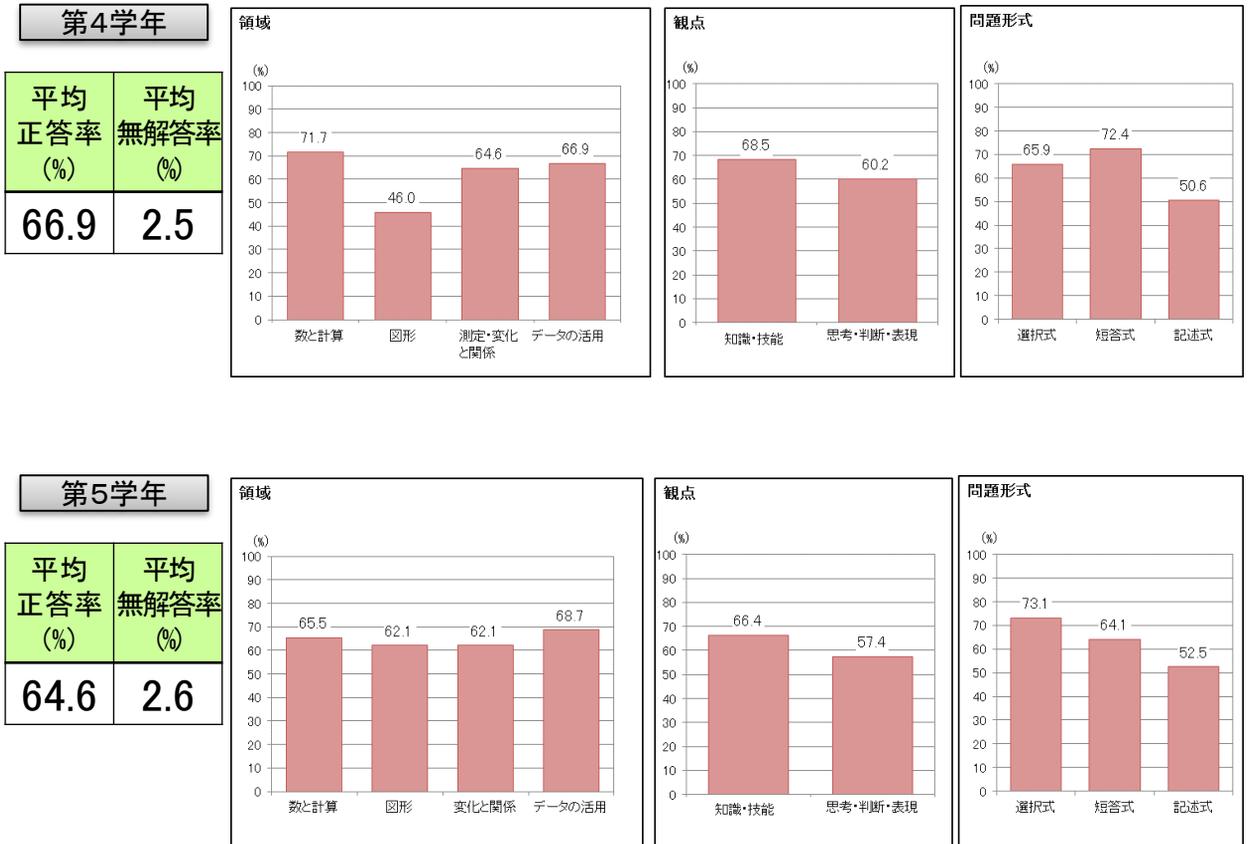
【第4学年】

- 問題場面における数量の関係を図に表すことはできている。
 [3 (1) 正答率 89.0% 無解答率 0.6%] 問題例 p3
- ものの重さを表す適切な単位を理解することはできている。
 [9 正答率 79.2% 無解答率 0.7%]
- 小数の大小比較について、説明することに課題がある。
 [12 正答率 33.0% 無解答率 6.0%]
- 二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合の割合の使い方について理解することに課題がある。
 [14 (2) 正答率 38.3% 無解答率 9.9%]

【第5学年】

- ある数の1/100の大きさの数を、小数点の位置を移してつくることはできている。
 [2 正答率 84.0% 無解答率 0.1%]
- 二つの整数の最大公約数を理解することはできている。
 [10 (2) 正答率 80.7% 無解答率 1.7%]
- 仮分数の意味を理解することに課題がある。
 [4 (2) 正答率 34.1% 無解答率 3.2%]
- 面積の単位や図形を構成する要素に着目し、面積の求め方を考えることに課題がある。
 [7 正答率 28.0% 無解答率 5.5%] 問題例 p4

正答率の比較



中学校国語

□比較的できている問題 ■課題のある問題

【第1学年】

□文脈に沿って同訓異字を使い分けることはできている。

[①(5)正答率 91.2% 無解答率 0.3%] 問題例 p5

□必要な情報に着目して、内容を捉えることはできている。

[④(1)正答率 82.4% 無解答率 2.1%]

■小学校で学習した漢字「自省」を読むことに課題がある。

[①(1)①正答率 34.0% 無解答率 0.2%]

■伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことに課題がある。

[⑤(3)正答率 44.7% 無解答率 10.0%]

【第2学年】

□中学校第1学年で読みを学習した漢字「負荷」を読んだり、小学校で学習した漢字「検討」を書いたりすることはできている。

[①(1)①正答率 86.5% 無解答率 0.3% (2)①正答率 79.5% 無解答率 0.5%]

□話し合いの展開を踏まえ、発言の役割を捉えることはできている。

[②(4)正答率 66.5% 無解答率 0.9%]

■文を単語に分けることに課題がある。

[①(3)正答率 9.5% 無解答率 0.3%]

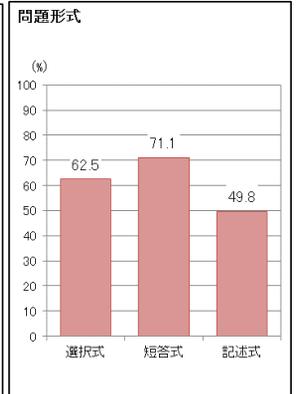
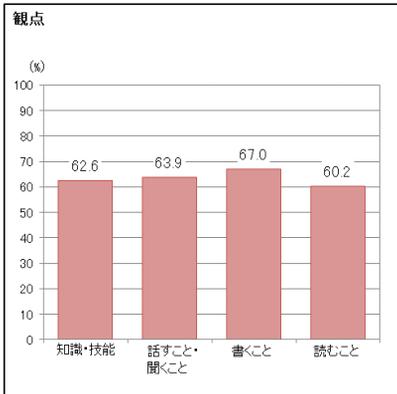
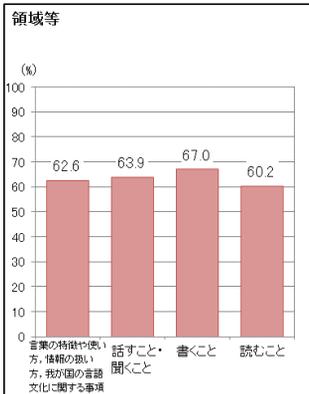
■表現の仕方に着目して、その表現を用いた意図を捉えることに課題がある。

[③(3)正答率 37.2% 無解答率 1.3%] 問題例 p6

正答率の比較

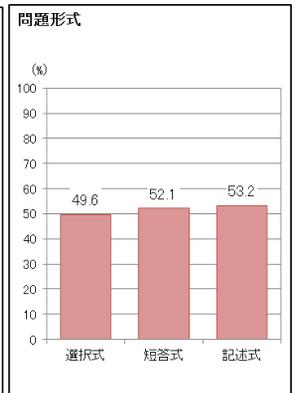
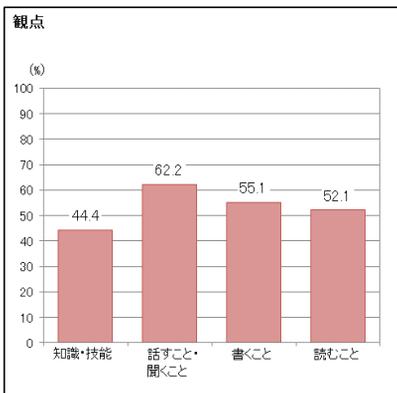
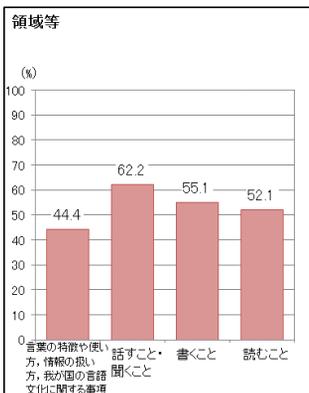
第1学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
62.7	2.8



第2学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
50.9	5.6



中学校数学

□比較的できている問題 ■課題のある問題

【第1学年】

□分数と整数の乗法の計算をすることはできている。

[①(1)正答率 92.5% 無解答率 0.9%]

□度数分布を表す表から、必要な情報を適切に読み取ることはできている。

[④(2)正答率 90.1% 無解答率 0.5%] **問題例 p7**

■具体的な場面で、正の数、負の数を用いて表した2つの数量の差を求めることに課題がある。

[⑥(1)正答率 51.6% 無解答率 0.7%]

■文字を用いた式を具体的な場面で活用し、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。

[⑦(2)正答率 33.3% 無解答率 12.9%]

【第2学年】

□正の数、負の数の四則計算をすることはできている。

[①(1)正答率 83.8% 無解答率 1.4%]

□分配法則を含む簡単な整式の計算をすることはできている。

[⑤(2)正答率 77.4% 無解答率 4.1%]

■比例のグラフを用いた問題解決の方法を、数学的に説明することに課題がある。

[② 正答率 39.2% 無解答率 16.0%] **問題例 p8**

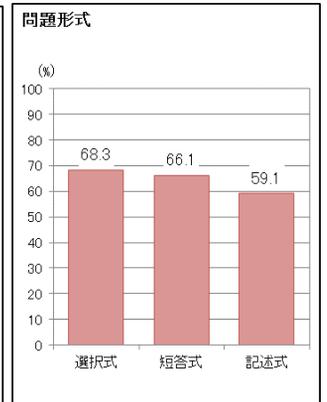
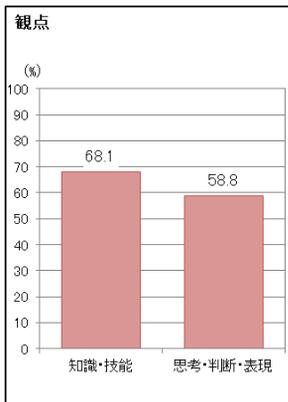
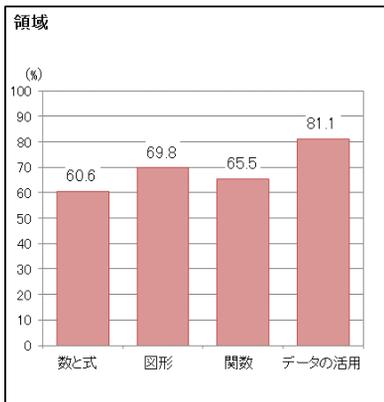
■目的に応じて、階級の幅の異なる複数のヒストグラムをつくることを理解することに課題がある。

[④(1)正答率 10.6% 無解答率 6.0%]

正答率の比較

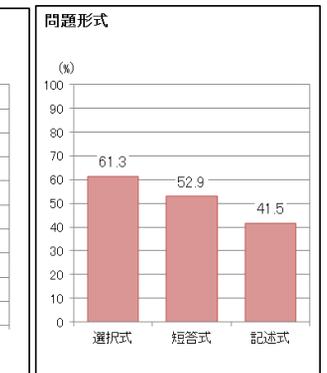
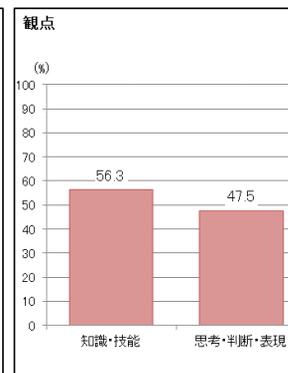
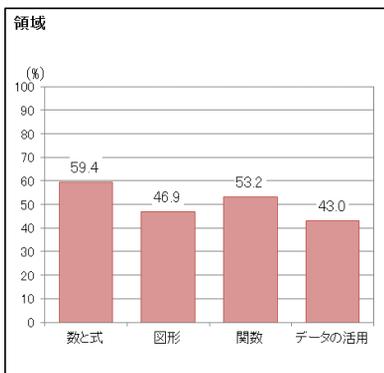
第1学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
65.8	2.9



第2学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
54.1	7.5



小学校理科

□比較的できている問題 ■課題のある問題

【第5学年】

□雨水の流れる方向と地面の傾きとの関係について理解することはできている。

[①(1)正答率 87.6% 無解答率 0.2%]

□ヒトの胎児の養分のとり方について理解することはできている。

[⑧(3)正答率 93.6% 無解答率 0.6%] **問題例 p9**

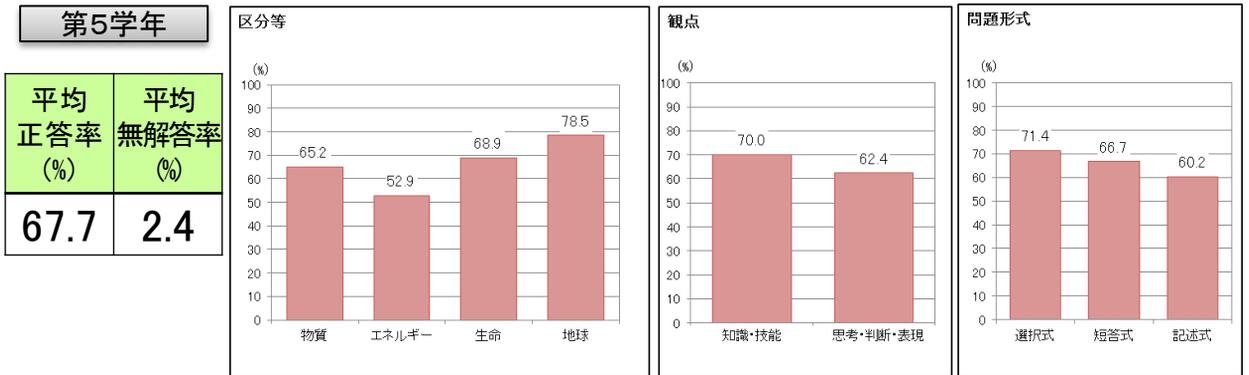
■乾電池の数やつなぎ方によるモーターの回り方の変化や、乾電池のつなぎ方の名称について理解することに課題がある。

[②(2)正答率 48.2% 無解答率 0.8%]

■実験結果から、発芽に必要な条件を読み取ることに課題がある。

[⑦(2)正答率 43.2% 無解答率 0.8%] **問題例 p10**

正答率の比較



中学校理科

□比較的できている問題 ■課題のある問題

【第2学年】

□軟体動物の特徴について理解することはできている。

[①(2)正答率 88.5% 無解答率 0.3%] **問題例 p11**

□植物の葉のつき方の特徴を、日光の受け方と関連付けて説明することはできている。

[⑥(2)正答率 77.6% 無解答率 7.8%]

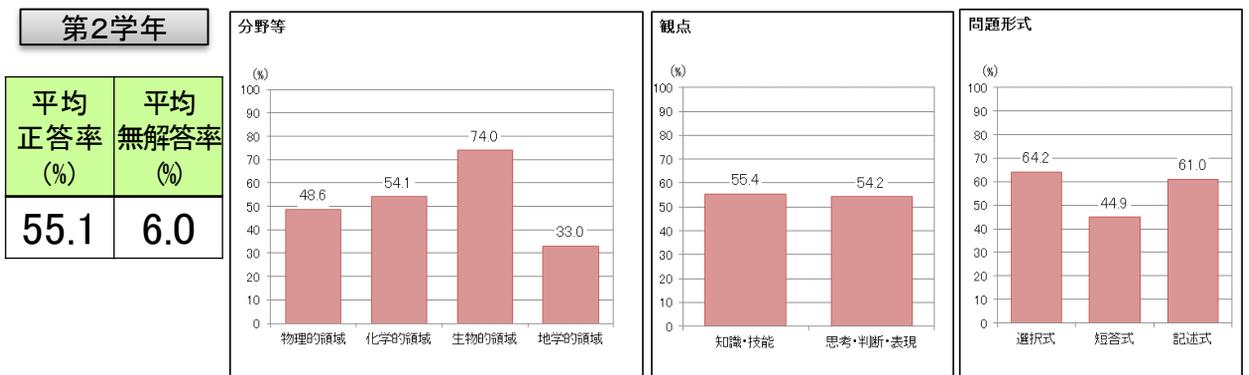
■力によって変形させられた物体がもともにもどる向きに生じる力について理解することに課題がある。

[③(1)正答率 23.6% 無解答率 13.1%]

■地層の重なり方や広がり方の規則性をもとに、過去の火山活動が活発だった時期の回数を推測することに課題がある。

[④(4)正答率 24.8% 無解答率 2.6%] **問題例 p12**

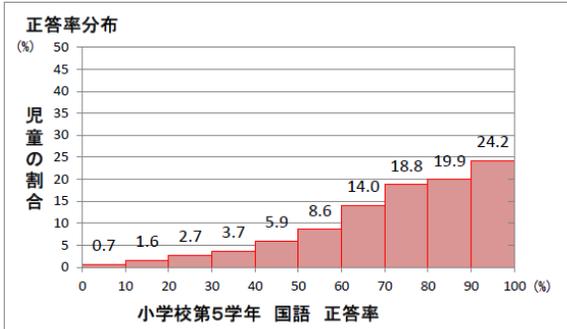
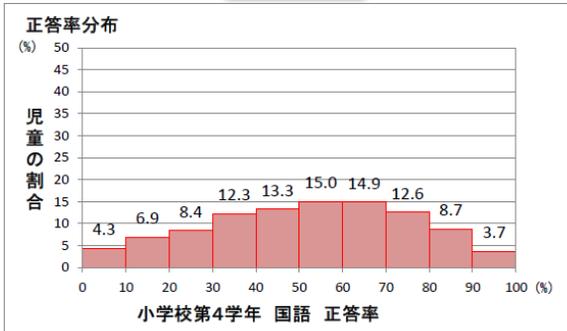
正答率の比較



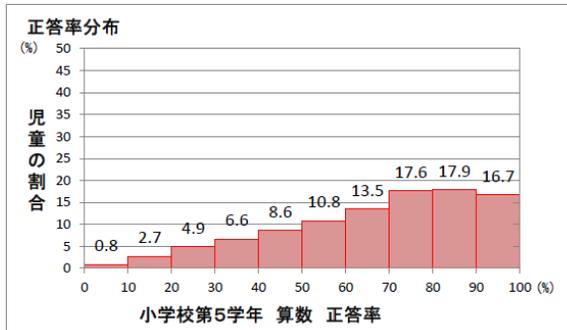
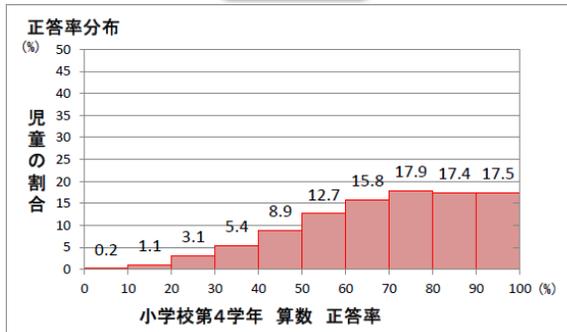
3 各教科の平均正答率の分布グラフ

小学校

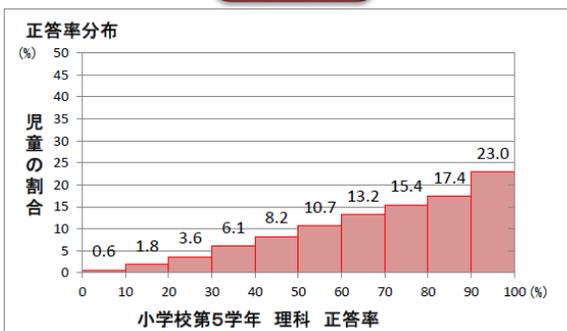
国語



算数

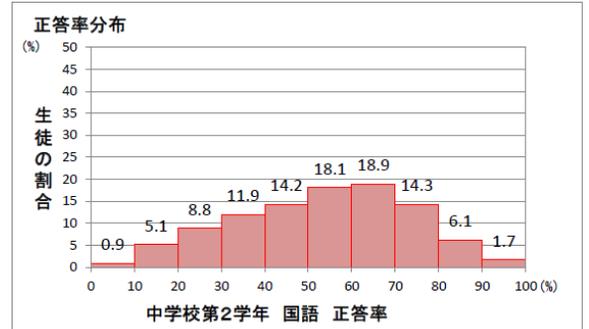
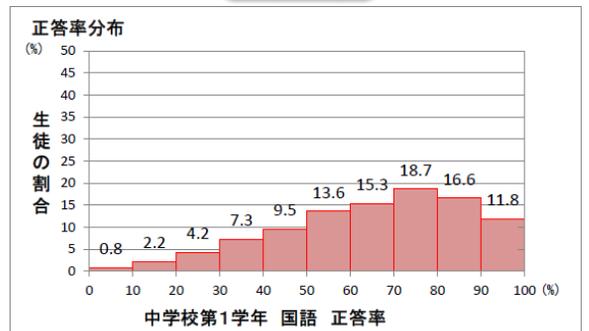


理科

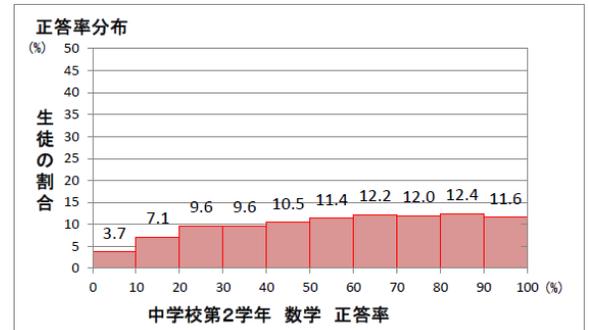
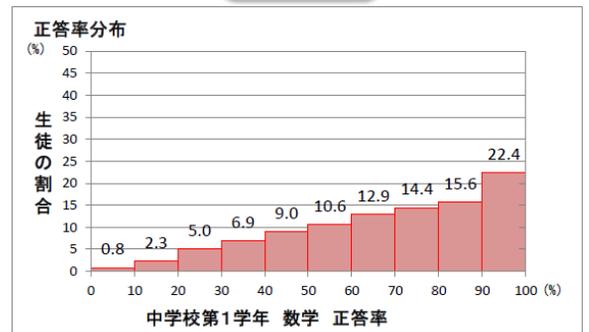


中学校

国語



数学



理科

